



座光寺石原遺跡 発掘だより

2021年5月24日発行

第4号

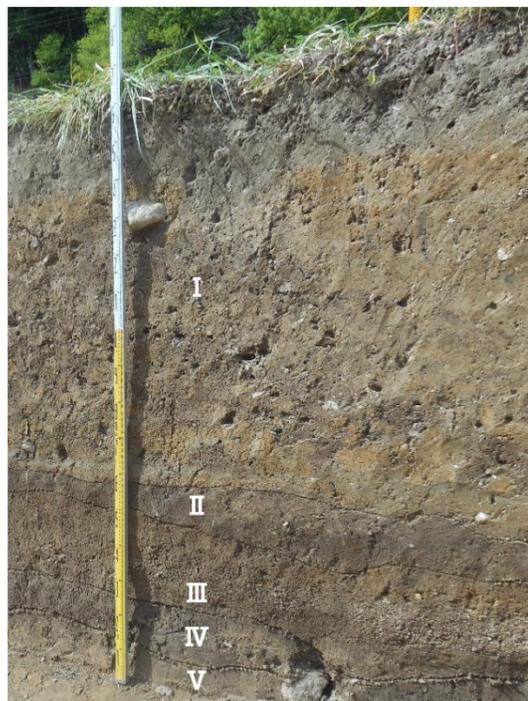
■ 少数といえど精鋭なり

4月26日、5名の作業員さんが加わって、発掘開始式がおこなわれました。今年度、飯田支所に着任した櫻井支所長からは、作業時や通勤時の安全に留意するよう訓示がありました。

今回、一緒に調査をする皆さんの中には、三遠南信自動車道関連の遺跡調査に参加していただいた20数年来のベテラン作業員さんもいます。頼もしい皆さんの力を借りて、11月までがんばります。

■ 11区の調査

今年度は、11区から調査をはじめました。傾斜に沿って、東西に6本のトレンチを設定し、それぞれ遺構検出面を探っていきます。トレンチ3では、地表下約160cmで遺構検出面に達しました。トレンチ1のIV層からは、灰釉陶器の皿が出土したほか、ところどころで土師器片がみつかりました。残念ながら、遺構を確認することはできなかったため、土層断面の記録を採って、調査を終了しました。



上：11区トレンチ1から出土した灰釉陶器の皿（平安時代）
右：11区トレンチ3の土層断面（V層上面：遺構検出面）

■ 9区の調査

続いて、9区の調査をおこないました。やはり傾斜に沿って東西2本のトレンチを設定し、地形と直交する南北方向にもトレンチを1本設けました。

No3とした南北トレンチからは、V層上面で黒褐色土の落込みが3か所みつき、そのうち2か所を、土坑と認定して、SK03・04と番号を付けました。

SK03は、平面が楕円形の土坑で、深さは約10cm。平らな底面となりました。

SK04は、平面が長方形で、南北の長さは約260cm、幅は約100cmです。北側中央の壁際から、高坏が横倒しの状態で出土し、深さは15cm以上になりそうです。土坑の平面形と出土遺物を見て、墓の可能性を推測しています。

今後は、周辺を広げてから、遺構検出と精査を再開する予定です。飯田市教育委員会によると、付近には、石原古墳があるといます。何がみつかるか楽しみです。



SK04の北壁中央辺りから古墳時代の高坏が出土



SK04 矢印の場所から、高坏が出土

日中は、かなり気温が高くなってきました。しっかり体調管理をしてね



座光寺石原遺跡発掘だより 第4号
長野県埋蔵文化財センター 飯田支所
飯田支所：0265-49-0736
info@naganomaibun.or.jp
発掘現場：080-2337-3138
HP：<http://naganomaibun.or.jp/>
(担当：若林卓・伊藤愛・平林彰)